

種名	ギ ボ ウ シ		
	Hosta		
			
分類	被子植物単子葉植物綱クサスギカズラ目クサスギカズラ科	生活型	多年草
分布			
形態	葉は幅広く根元から出る。 夏に総状花序に青色(白色の品種もある)の細長い花をつける。 果実は蒴果で3裂するが、栽培品種には結実しないものもある。		
類似種	東北地方から中部地方の一部でウルイと呼び、西日本でもギボウシ、タキナなどの名で山菜として若芽、若葉などが利用される。ただし、若葉が毒草のバイケイソウに似ており、誤食事故が多いので注意を要する。		
生息場所	山間の湿地などに自生する。		
繁殖	マルハナバチなど大型のハナバチの訪花によって受粉される。		
他生物との関係			
配慮のポイント	食用となり、花が美しく、日陰でもよく育つため、栽培される。		
引用文献: 『ウィキペディアフリー百科事典: http://ja.wikipedia.org/wiki/ を改変			